

# 特別養護老人ホーム あったかの家



第9号

# あったか便り



2月に入り関東にも雪が降り、一時ではありましたが、施設周辺も白一面にお化粧がされました。

寒い日は続きますが、昼間の時より見せる木漏れ日が気持ち良い日があります。この時期は空気も澄んでおり、施設の屋上からも素敵な富士山を見ることが出来ます。

「春よ来い♪早く来い♪」

少しずつ春が近づいて来ているかな・・・。



毎月、篠笛演奏でボランティアにお越しの照屋様がお正月に合わせ、獅子舞を披露してくださいました。

迫力ある動きで皆さんも驚いておりました。



坂戸市の民生委員の皆さんが施設見学のお礼に「マツケンサンバ」を披露してくださいました。(2月8日)

## 節分



あったかの家にも

鬼が来た!?

本来、「節分」は季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を指すものとなりました。立春を新年と考えれば、節分は大晦日にあたり、前年の邪気を祓うという意味をこめて、追儼(ついな)の行事が行われ、その一つが「豆まき」だそうです。

追儼とは悪鬼・疫癘(えきらい)を追い払う行事のことで、平安時代、陰陽師たちにより宮中において大晦日盛大に行われ、その後、諸国の社寺でも行われるようになったそうで、古く中国に始まり、日本へは文武天皇の頃に伝わったといわれています。

